

レールダル気道管理トレーナ

使用説明書概略



トレーナは、実習ボードに取付けられた状態で運搬ケースに収納されています。また、以下のものが付属しています。

1. 衛生キット:
a) ふた付き容器
b) ガーゼ (10枚)
c) 注射器 (60ml)
d) 3方コネクタ付クリーニング・ポンプ・アセンブリ

- 1) じょうご
2. 漏れ防止吐物:
(150g)
3. 頭部保持用スポンジ・ブロック
4. 潤滑剤スプレー
5. 気道モデル
6. 頭部プロテクター (保管および輸送時用)

適用

レールダル気道管理トレーナは、年齢をかけられていない患者を気道管理にシミュレートしており、挿管、人工呼吸、吸引および気管支鏡検査の実演および実習に使用することができます。



前設薬付加を含むすべての挿管手順の完全な訓練が実施できます。

- 気管 (口と鼻)
- 喉頭 (口と鼻)
- 食道
- 気管支オプションの気管支モデルを用いてチューブを挿入する前に、チューブと気道に潤滑剤をスプレーして下さい。

輪状軟骨の圧迫を、チューブの挿入を助け、胃内容物の逆流を防止するために用いることができます。喉頭隆起を、指導員が接続チューブ上のスライド・ロックとともに注射器を用いることによって、シミュレートすることができます。



喉頭隆起をシミュレートするために、注射器の内筒を押します。スライド・ロックを用いて、隆起を維持します。嘔吐をシミュレートできます。容器に記載された胃内容物の説明を参照して下さい。胃への注入および嘔吐の誘発のために、「吸引」の説明を参照して下さい。

喉頭鏡によって歯に過度の圧が掛かると、可聴信号が発生します。正しいチューブ位置が、以下によってチェックできます。

- 換気時の肺膨張の目視点検
- 聴こえたダイアフラムを経由した呼吸音の聴診
- 自発呼吸は、肺をリズムカルに膨らませることによってシミュレートできます。空気の流れによる可聴音が、チューブの位置設定を助けます。



— 気管支鏡検査による先端位置の評価

気道モデルは、実物そっくりな顔面を備えており、喉頭の膨張を訓練するために使用することができます。輪状軟骨の圧迫を実演するのに最適です。



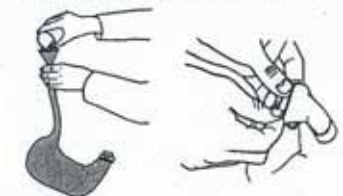
レールダル気道管理トレーナは、頭部後屈、頸部上、頸部上、下頸部上等のすべての気道確保のための手法を用いることができます。ロー・ロ、ロー・鼻、ロー・マスク、バック・バルブ・マスク等の、器具を使用するの、または使用しないでの換気が練習できます。トレーナの右側および内側は、呼吸ガスによる人工呼吸の訓練後に効果的にクリーニングできます。注: マネキン、口と鼻を通して呼吸を吐き出します。

吸引

レールダル気道管理トレーナは、閉塞した気道の清拭の訓練のために、以下の部位からの吸引が行えます。

- 口腔
- 口腔咽頭または鼻咽頭
- 気管、気管内チューブを口または鼻から挿管して
- 気管支 (気道支モデルを用いて)

胃ドレーンも練習できます。擬似嘔吐物の準備。容器に記載された混合手順を参照して下さい。胃保持バルブを外し、擬似嘔吐物約4カップを、じょうごを用いて硬質コネクタから注入します。保持バルブを再び取付け、胃を食道に接続します。嘔吐を誘発するために、満たされた胃を圧迫します。



胃内容物は、練習直後に水で流すことによって、トレーナ内部から効果的に除去することができます。胃内容

物がトレーナ内部で乾いてしまった場合でも、水で溶かすことができます。消毒時間を短縮するために、クリーニング・ポンプ・アセンブリを使用して、水を顔面の中に循環させます。「訓練後の衛生」の項以降をご参照下さい。

気管支鏡検査法

実物そっくりな気管支モデルがオプションでご利用いただけます。これは、第三分枝までの気管支気道を模倣しています。

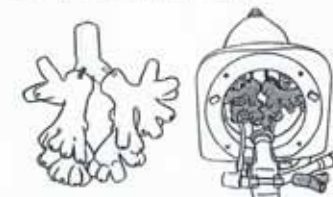
硬性および可塑性気管支ファイバースコープの両方による検査法が、以下を学習するために実施できます。

- 標識点の認識
- 機器の正しい取扱い
- 気管支鏡検査法による気管内チューブおよび気管支チューブ位置の点検
- 固形物および粘液凝固物の除去
- 一般病変の識別

気管支モデルは、訓練中に講習生の視界から隠されます。気管支鏡の先端は、指導員が気管支鏡検査中に気管支鏡の位置を容易に確認できるように、気道を透視します。

気管支モデルは、2つに分岐した気管支の気管支に取付けられた遊離可能な左右の主気管支が構成されています。これによって、気管支を分離したユニットとして実演できます。

トレーナに取付けて使用する場合は、左右の主気管支を外し、それらを下部の色識別/位置マークに従って、トレーナの気管支に取付けて下さい。



衛生

訓練中

同一のマネキンで2人以上の講習生が呼吸ガスによる人工呼吸を訓練する場合は、顔スキンの消毒が必要です。

1. ガーゼを容器内に置き、ガーゼに消毒液を注ぎます。
2. マネキンの顔を乾かします。
3. ガーゼから余分な消毒液を拭き取り、マネキンの口と鼻の上にしきんと置きます。



4. ガーゼを約30秒間そのままにしてから、容器に戻し

訓練後
実習ボードのロックを開き、トレーナをボードから持ち上げます。



肺チューブ・コネクタを外してから顔を外します。



胃を外します。



A. 擬似嘔吐物が使用された場合は、トレーナを流しに置き、水道水を口から流し込んで、胃および肺チューブから残留物を洗い出します。必ずしてから水を切って乾かします。



肺・喉頭部の内部部品から外部部品をゆるめて外します。バッグを水で洗い流します。胃保持バルブを外し、胃の他端の閉鎖を解きます。胃を水で洗い流します。すべての部品を、組立てる前に空気中で乾かします。

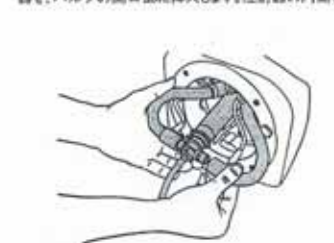


B. 呼吸ガスによる人工呼吸の訓練がトレーナで行われた場合は、保管または次の練習の前に、気道の消毒が必要です。以下の4ステップの手順を実行して下さい。

1. 石けん水で内部表面の水道を除去します。
2. きれいな水で石けん分を洗い流します。
3. 消毒液を気道に完全に満たし、少なくとも10分間そのままにします。
4. きれいな水で消毒液を洗い流します。

トレーナの顔を、内側の段のすこし上まで液体を満たし

もう一方のチューブを容器に入れます。バルブをトレーナの裏の後ろにある固定ブラケットに取付けます。注射器を、バルブの開口部に挿入します。注射器の内筒を



押し引きしたりすることによって液体を気道内に循環させます。各ステップの後、液体を抜くために顔を持ち上げます。



顔および胃
前述のAで述べたようにして、分解します。液体を指示された順序で注ぎ、よく振ります。消毒液を少なくとも10分間入れたままにします。カップリングを洗ってから、消毒液に少なくとも10分間浸します。



きれいな水でゆすぎます。トレーナに組付ける前に、すべての部品を乾かします。

予防保守

マネキンのスキンにペンキまたはラッカーの塗られた物、新聞紙、ボールペンおよびロリ等をつけていないように注意して下さい。講習生に口紅を落とし、手を洗うように指示して下さい。

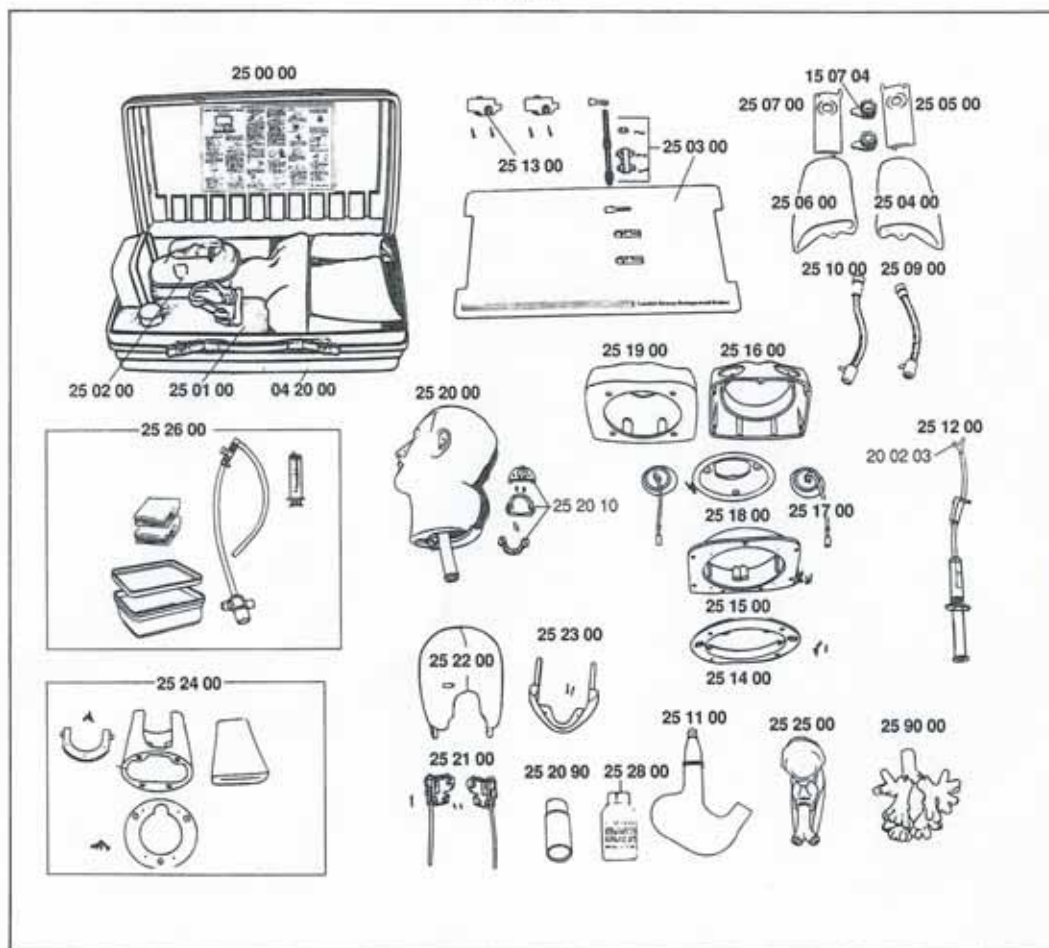
マネキンのスキンを洗う場合は、中性洗剤を入れた微細漏れ網を使用して下さい。汚れは、処置が早ければアルコールで除去することができます。

気管挿管中に過度の力を入れてはなりません。強い力は、患者の重い外傷を引き起こし、マネキンのプラスチック「組織」にも損傷を与えることがあります。



レールダルメディカルジャパン株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 丸の内ビルディング10F

構成部品表



Get. No.

25 00 00 レールダル気道管理トレーナ

部品

- 04 20 00 運搬ケース
- 25 01 00 スポンジ・ブロック・ホルダー
- 25 02 00 顔部プロテクター
- 25 03 00 実習ボード一式、ロック付
- 25 04 00 左肺
- 25 05 00 左肺用支持プレート
- 25 06 00 右肺
- 25 07 00 右肺用支持プレート
- 15 07 04 肺接続ピース(雄)、ナット付 2個
- 25 09 00 左肺用チューブ、コネクタ付
- 25 10 00 右肺用チューブ、コネクタ付
- 25 11 00 胃一式
- 25 12 00 喉頭症候シミュレーター式
- 25 13 00 胃ブラケット 2個
- 25 14 00 外部胃フランジ、ネジ4本付
- 25 15 00 内部胃フランジ、ネジ4本及びゴム製ストッパー付
- 25 16 00 胃ピース
- 25 17 00 音声ダイヤフラム及びチューブ(2個)
- 25 18 00 回転式胃ディスク
- 25 19 00 胃スキン
- 25 20 00 顔部スキン及び気道一式、歯付
- 25 20 10 歯任用発音装置一式
- 25 21 00 喉頭一式、ネジ及び喉頭装置付
- 25 22 00 内頸一式
- 25 23 00 下顎
- 25 24 00 舌一式
- 25 25 00 気道モデル
- 25 26 00 衛生キット一式
- 25 28 00 濃縮炭酸ガス
- 25 29 00 潤滑剤スプレー

オプション付属品

- 25 90 00 気管支樹モデル一式

サービス

レールダル気道管理トレーナは、精密な解剖学的細部を真物そっくりに模造するとともに、訓練用マネキンとして必要な頑丈さを備えるように設計されています。

レールダル気道管理トレーナは、訓練用マネキンを開発してきたレールダルの長年の成果です。適切な取り扱いをすれば、マネキンは長年にわたってトラブルなくご利用いただけます。

マネキンの全部品は交換可能であり、部品が壊れたり、古くなりましたら、分解図と部品リストを参照して容易に交換することができます。

気道管理トレーナは、分解、組立てが容易に行えますので、ユーザーが修理のほとんどを行うことができます。部品のお求めは、レールダル メディカル ジャパン株式会社または代理店にて承ります。

保証

気道管理トレーナの材質および仕上げ上の欠陥に対して、ご購入後1年間の保証をいたします。この保証は、許可されていない修理または改造を行ったり、目の縁や口が裂けたりする事故、あるいは誤った使用による損傷には適用されません。また、スキンの破れや汚れにも適用されません。



Laerdal
helping save lives

輸入販売元

レールダル メディカル ジャパン株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-12 新宿15ビル6F TEL: 03(5819)2123 FAX: 03(5819)2124